

防犯指導員の活動

町防犯指導員（櫻井美暢会
長以下17名）は、犯罪のない
住みよい街を目指し、犯罪の
予防警戒や青少年の非行防止
などの活動を行っています。

警察官の協力により、犯罪
の発生しやすい場所の防犯パ
トロールや、防犯思想の普及
活動を展開しています。
犯罪者が嫌がるのは、地域

住民同士の連帯です。「こ
では、犯行は無理だ！」と、
犯罪者におもわせる地域住民
の結束力があれば、犯罪は必
ず減っていきます。

これからも、警察、防犯指
導員、町が一体となり安全で
安心な街づくりに努めますの
で、みなさんの協力をお願い
します。

犯罪者が嫌う “3つ”

声,音

視線

光

『あいさつのいきかう街に
あき巢なし』

『少年に 目をかけ 声かけ
明日をかけ』
(防犯モデル標語)

地域安全ニュース

《携帯電話でのトラブルに注意！》

携帯電話の普及に伴い、トラブルも急増しています。

悪質な業者は電話の持ち主が大人でも子供でもお構いなしで、ワン切り・迷惑メール・架空請求等あの手この手で接触してきます。

特に、子供が持っている携帯電話には注意を払わないと、大人と同じ情報が飛び込んでくるので、興味本位で接続してしまうと思わぬトラブルに巻き込まれることも考えられます。

個人情報売買される時代、個々の情報が漏れることのないよう、細心の注意を払うことが大切です。

《16年度少年防犯ボランティア活動開始》

昨年発足した管内の中学生・高校生による防犯ボランティアの『ジュニア・セーフティ・リーダー』（通称JSL）が、今年度も新メンバーになって活動を開始しました。昨年同様、地元の中学生・高校生が先輩から引き継いだ『JSL』と書かれた黄色い腕章を腕に着け、自分たちの住む地域が犯罪のない住みよい街になるよう、若い力で様々な活動を行っています。

《不審者には『何か？』の一言を》

不審者を寄せ付けないために、「1軒1灯」運動にご協力ください。

仮に20Wの門灯を一晚（10時間）つけても、1ヶ月の電気料は110～130円程度です。各住居に門灯がついていれば、道が明るくなるばかりか、犯罪者は街の連帯感を感じて敬遠するようになり、防犯効果を高めることができます。

また、住民が「こんばんは、こちらに何かご用ですか？」と声をかけるだけで、犯罪者のほとんどがその場を去ります。

地域の人たちがちょっとした工夫をするだけで、その街は犯罪者にとってどんどん近寄りたがいの街になっていくのです。

見かけない人や不審な人を見かけたら「何か？」の一言をかけてみる、一晚門灯をつけておく等、身近な防犯を心がけましょう。

